

鶺鴒三小だより 8月号

令和5年 文月20日
各務原市立鶺鴒沼第三小学校

【8月の予定】

日	曜	行事等
1	火	
2	水	科学作品相談日(9:00~11:00)
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	<学校閉庁日> 7日(月)~16日(水) この間、学校には日直 もいません。 ※詳細は、配付済み別 紙案内を御覧ください。
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	図書貸出日(9:00~11:00)
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	夏休み明け集会
29	火	
30	水	校内夏休み作品展(児童のみ)
31	木	校内夏休み作品展(児童のみ)

1年生のみなさんのあさがおが咲きました



4月、入学式で1年生のみなさんに、あさがおの話をしました。「みなさんで、種から大切に育てましょう」と。学校が始まって、1年生のみなさんは、一人一鉢、種からあさがおを育てていました。土の中から、双葉が芽を出し、本葉となって、つるをのぼしていたあさがおも、6月の終わりの頃から、次々と花を咲かせ始めました。

たった一粒の種が、どんどん育って、美しい花をいくつも咲かせる。すごいことですし、素晴らしいことです。

ただ、みなさん。上の写真のあさがおも、ただ種をまいただけでは、大きく育ちませんし、花も咲きません。美しい花を咲かせたのは、1年生のみなさんが、一生懸命水やりをしたからです。そのことを忘れないでください。大切に育てたからこそ、美しい花が咲くのです。何もしなかったのならば、花は咲かないのです。

全校のみなさん。いよいよ夏休みが始まります。どうぞ、「自分」を大切に育てましょう。あさがおに水をあげるように、みなさんには、たくさん本を読んでほしいと思います。水があさがおを育てたように、本がみなさんを必ず育てます。私は、小学校1年生の夏休みには、絵本を50冊読みました。6年生の夏休みには、「モモ」という分厚い本を読み切りました。そして、大人になって、国語の先生になりました。小学生の内に本をたくさん読むことは、「自分」を大切に育てることに必ずなります。夏休みが終わったら、是非何冊読んだか、校長室に教えに来てください。

8月28日に、元気な笑顔のみなさんと会えることを楽しみにしています。

保護者の方へ：読書のすすめ

災害級の猛暑といわれる日が続いておりますが、保護者の皆様の御理解、御協力のおかげで、所謂1学期を無事終えようとしています。心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、私は中学校の国語の教師をしておりましたが、保護者の方から、「国語の力を付けるためには、どうしたら良いですか？」とよく尋ねられました。その際、「小学校の内にどれだけ本を読むかが、国語の力の土台なんです。」と最初に必ずお伝えしていました。これは、経験則から今も断言できます。そこで、どうぞ夏休みの間に、お子様に、本との出会いをさせてあげていただければと考えます。

私の母は、私が低学年の頃、夜「岐阜の昔話」を読んでもくれました。夏の夜の楽しみでした。私の父は、私が高学年の頃、ミハエル・エンデの「はてしない物語」「モモ」を手渡し、「夏休みの間に読み切ることができるか」と、私の負けん気に火を付けました。読書は、論理的な思考をトレーニングするのにも大変有効です。読書は、情操教育に資するのは言うまでもありません。そしてそれは、早く始めるにこしたことはありません。是非、御一考いただければ、幸いです。